いっぽ通信 No. 2 8

多機能型事業所いっぽ

2020年10月8日(木) 発行 988-0164 気仙沼市赤岩四十二80-28 TEL0226-37-4585 FAX37-4925

メール mizunashicaffe_ippo@ab.auone-net.jp URL http://www.mizunashi-ippo.com/



如震泛Ⅰ→避難行動

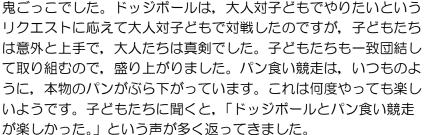
9月12日(土)の午前11時44分頃の地震 には驚かせられました。午前中の活動が終わって、 そろそろお昼の時間だねぇ、とのんびりしている ところに、突然、グラグラっときました。しかも、



揺れている間に緊急地震速報です。これで、冷静にいるのは至難の業だと思うのですが、 いっぽでは、写真のような光景が見られました。写真は8月1日の避難訓練の様子です

が、同じように、子どもたちは全員机の下に避難していました。車椅子のお子さんもいたのですが、担当の 看護師が出口の近くに移動していました。騒ぐ子もなく、全員が落ち着いて避難行動を取ることができまし た。訓練と実際の避難はやはり緊張感が違います。いざという時にきちんと避難できたのでかなり安心しま した。幸い、大きな被害はありませんでしたが、子どもたちはきちんと避難ができるように育っています。

10月24日(土)に10月のお楽しみ会として, 室内スポーツ大会を実施しました。種目は、警泥 という鬼ごっこ、ドッジボール、パン食い競走で す。警泥は警察と泥棒に分かれて、警察になった ら追いかける、泥棒になったら逃げるという形の





土曜日に, 理学療法士の方 々のお手伝いをいただいてい ます。主に、体を動かすこと に視点をおいた支援を担当し てもらっています。さすがプ 口の方で、歩くことの訓練な



ど、子どもたちの能力・可能性を引き出しています。 写真 では硬い表情ですが,実際は笑顔で取り組んでいました。

保護所の作業療法

障害のある子どもたちの支援について、気仙沼保健所 の作業療法士さんと気仙沼市役所の保健師さんからも助 言をいただいています。実際に子どもたちの様子を見て もらい, 高校生の実習の方法や, 視覚支援の有効性など, 具体的な方法の紹介など、様々なアドバイスをいただき ました。今後の支援に生かします。

ポランティア

毎週、月曜日と木曜日に、ボランティアとして 手伝ってくださる方がいます。水梨地区の高﨑さ んという方です。これまでも不定期でお手伝いし ていただいたのですが、時間に余裕ができたとい うことで定期的にお世話になっています。自然塾 の塾長さんだけあって、様々な遊びを工夫しては 子どもたちに喜ばれています。

視覚支援学校の相談会10月22日(木)

宮城県立視覚支援学校の先生方がいっぽにお出で になり、目や視覚についての相談に乗ってください ます。午前中は支援学校、午後はいっぽが会場です。



利用者のAくんが出場した陸上の 宮城県大会で,見事,金メダルと銅メ ダルを獲得しました。A君は優しいの で,小学校の子どもたちの面倒もよく 見てくれます。

